

令和5年度自己評価表

1. 学校の教育目標

新潟こども医療専門学校は、学校法人新潟高度情報学園の組織の中の1つであり、その教育理念は学校教育法に基づき「商業実務および教育・社会福祉分野において専門的な知識・技術と合わせ、教養人格度の高い道義・礼節・作法をも身に付けた人材の育成」を目的とした教育機関である。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- こども未来学科・・・ 1年次は学校の基本的なルールを守る。
2年次は社会人としての礼儀・マナーの実践を行う。
3年次は希望進路に向けた活動に意欲的に取り組むことができる。
4年次は学校の模範となる学生 希望進路への就職の実現を達成する。
- こども発達学科・・・ 1年次は学生マニュアルの記載事項を遵守し、学生としてふさわしい生活、学習習慣の基礎を培う。
2年次は1年次に培った基礎をもとに、実習経験を積み、より実践的な学びを深める。
3年次は就職年次として、社会人としてふさわしい道義、礼節、マナーを備えた人材を目指す。学習、実習においては、自分の課題を見つめ、自らすすんで学びを深める姿勢を養う。
- こども学科・・・ 1年次は学校生活の基本的なマナー（挨拶・清掃・提出物・自己管理）を身に付ける。
2年次は目的意識を持った就職活動とその実現を達成する。
- 医療事務総合学科・・・1年次は①あいさつ・清掃・環境に対する意識向上②納期を守る③礼儀・マナーを身につける④目配り、気配りを心掛ける。
2年次は①あいさつ・清掃・環境に対する積極性②納期厳守のための余裕を持った行動③社会人として礼儀・マナーを実践④目配り、気配りを心掛ける。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	④ 3 2 1
・ 学校における職業教育の特色は何か	④ 3 2 1
・ 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④ 3 2 1
・ 学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか	4 ③ 2 1
・ 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに 向けて方向づけられているか	4 ③ 2 1

① 課題

- a. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに対応づけられているが、普及が加速しているA I利用、I C T化への対応面に弱い所がある。
- b. 保護者との直接的な対話の機会に欠ける面がある。

② 今後の改善方策

- a. タブレットやこども園で利用している管理ソフトの導入を図り、正しいA I利用やI C T化への対応力や専門知識を強化していく。そのための教職員への研修講座も積極的に取り入れていく。
- b. 遠方で来校が困難な保護者へはズームなどの会話ツールを利用する。また、保護者への説明の機会を不定期に開催していく。

③ 特記事項

特になし

(2) . 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・ 運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか	4 3 2 1
・ 人事、給与に関する規程等は整備されているか	4 3 2 1
・ 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・ 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・ 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・ 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

① 課題

業務の効率化を高めるためにグループウェアを利用しているが、ソフトに頼りすぎる傾向があるため、本来求められる対話によるコミュニケーションに欠ける面がある。

② 今後の改善方策

定期、不定期の会議などを設定し、直接会話できるコミュニケーションの機会を増やしていく。
また、内部こども園職員との意見交換ではズームなどを利用し、遠方からの会議参加を可能としていく。

③ 特記事項

特になし

(3-1) . 教育活動 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

① 課題

全学年共通している課題は、課外活動に対してモチベーションの維持が難しいことである。普段から計画的に学習することが難しく、例えば課外活動とレポート提出が重なるとレポートの方が気になり課外活動には意欲的に参加することができない学生もいた。

② 今後の改善方策

計画的に課題に取り組めるようクラス全体の雰囲気作りに努め、必要な学生には個別支援を行う。また課外活動への動機づけは、クラス担任を中心に行っていく。

③ 特記事項

特になし

(3-2) . 教育活動 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④ 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	④ 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	④ 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育 (産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等) が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④ 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員 (本務・兼務含む) を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 ③ 2 1

① 課題

- a. 外部関係者、外部機関からの評価や助言を教育活動に積極的に取り入れる。
- b. 教員の指導力向上のための研修や学会の機会が充分とは言えない。

② 今後の改善方策

- a. 引き続き外部機関との連携を密にし、様々な観点から教育活動を展開する。
- b. 教員研修のあり方について、外部の研修や学会のみならず学内での研修を充実させるなど、
教員の指導力向上のための取組みを強化する。

③ 特記事項

- 特になし

(3-3) . 教育活動 (こども学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
・ 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	4 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 3 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	4 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 3 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 3 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 2 1

① 課題

- a. 昨年の課題であったカリキュラムの見直しをおこなった。来年度からの運用になるが、授業数を減らしたことで、学生の負担は軽減すると思われるが、今後は必要な知識・技術が身についているか確認が必要となる。
- b. 研修等の参加は、教員の意思に任されている。教員間に差が生じないように、研修に参加しやすい環境整備等の対応策が必要である。

② 今後の改善方策

- a. 編成しなおしたカリキュラムについて、学生の性質・学力・意欲を鑑み、さまざまな知識・技術を習得するだけでなく、学修の定着が図られているか、学科のみならず、教科担当間で協議する。
- b. 研修に参加しやすいよう、授業スケジュールの調整や、業務分担しやすいよう環境を整備する。

③ 特記事項

授業アンケートを改善し教育活動の充実を図るだけでなく、学生の満足度を上げることにより学修意欲を高められるよう、学生生活の満足度アンケートを実施する等の取り組みが必要である。

(3 - 4) . 教育活動 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④ 3 2 1
・ 教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④ 3 2 1
・ 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 ③ 2 1
・ キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の 工夫・開発などが実施されているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・ 見直し等が行われているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、 実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4 ③ 2 1
・ 授業評価の実施・評価体制はあるか	④ 3 2 1
・ 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4 ③ 2 1
・ 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④ 3 2 1
・ 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④ 3 2 1
・ 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保 しているか	④ 3 2 1
・ 関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか	4 ③ 2 1
・ 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力 育成など資質向上のための取組が行われているか	4 ③ 2 1
・ 職員の能力開発のための研修等が行われているか	4 3 ② 1

① 課題

医療機関の見学や実習の機会が設けられず、職業理解につながる経験が乏しい。

② 今後の改善方策

過去の実習報告を用い、実習生の立場ならどう対処するかを検討する時間を設ける。
医療機関の感染対策上、問題がなければ見学、実習を再開していく。

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(4-1) . 学修成果 (こども未来学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

今年度教員採用試験の一次通過者は1名のみだったため、教員希望者に対する一次試験の対策に力を入れる必要がある。小学校教諭の採用試験は一次通過ができたが、養護教諭は倍率7倍のため一次通過は叶わなかった。養護教諭の一次試験では高い得点を獲得できる力が必要となる。自治体により採用試験を3年次に受験することが可能となったため、これまでと比較し約1年早く準備を始める必要がある。

② 今後の改善方策

1・2年生のときに始めることができる一般教養や教職教養の学習については、早めに開始できるよう支援を行う。

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(4-2) . 学修成果 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 3 2 1

① 課題

人間関係の悩み、学力不振、体調不良等から退学を選択する学生が数名いた。

② 今後の改善方策

退学を考えている学生の心の機微に気づけるよう、担任と教科担当が連携しながら学生支援する。
また、キャリア教育の充実を図り、当校での学習、取得する学位や資格が人生においてどのような意味をもつのか指導し、退学者低減に努める。

③ 特記事項

特になし

(4-3) . 学修成果 (こども学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 ③ 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

① 課題

昨年度の反省を踏まえ、学生への迅速な対応を心掛け、退学者も1名に留めることができた。しかし退学理由がクラス内の人間関係であるため、学校で安心できる居場所づくりを行う必要がある。

② 今後の改善方策

- ・ クラス内での居場所が作れるよう、入学後すぐにクラス内でレクリエーションや共同作業を行う。クラスの人と関わる機会を増やすことで、さまざまなグループで自分の居場所ができるようにする。
- ・ 多様な問題を抱えた学生が年々増加しているため、学生支援室の設置や専門機関との連携を深めていく。

③ 特記事項

今年度は、1年次前期に学生とガイダンスを行ったり、学科内で連携したりし、学生の変化や困りごとに早急に対応したが、個別に支援の必要な学生が年々増えてきている。また、来年度は、1年生の入学予定者数も多いため、個別のニーズを把握し対応できるような体制を整える必要がある。

(4 - 4) . 学修成果 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 就職率の向上が図られているか	4 ③ 2 1
・ 資格取得率の向上が図られているか	④ 3 2 1
・ 退学率の低減が図られているか	④ 3 2 1
・ 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	④ 3 2 1
・ 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4 ③ 2 1

① 課題

就職内定後に認識の相違で取り消しとなるケースが数件あり、就職への学生のモチベーションが下がってしまうことがあった。

② 今後の改善方策

内定先からの希望によって在校中でも内定先での勤務が可能であることについて、保護者に周知する機会を設け、トラブルにつながる前に情報を共有できるような体系を築く。

③ 特記事項

特になし

(5) . 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・ 学生相談に関する体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・ 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④ 3 2 1
・ 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④ 3 2 1
・ 課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 ③ 2 1
・ 学生の生活環境への支援は行われているか	④ 3 2 1
・ 保護者と適切に連携しているか	④ 3 2 1
・ 卒業生への支援体制はあるか	④ 3 2 1
・ 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④ 3 2 1
・ 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④ 3 2 1

① 課題

- a. 公立保育士公務員の合格者が4人とどまった。一次の筆記試験は通過しているので、2次の面接試験の対策強化が課題である。
- b. 小学校教諭・養護教諭の現役合格者が出なかった。一次（筆記試験）での不合格である。クラス担任制をしている専門学校の特徴であるが、すべての業務負担が担任に集中することがある。

② 今後の改善方策

- a. 面接指導者間の情報共有。学生による面接指導者選択制の導入（及び指導者による対象学生選抜制の導入）によるマッチングで主体的に、お互いに取り組むことで教育指導効果を上げる。
- b. 一般及び教職教養対策に力を入れる。併願を促すために自治体の研究を行わせる。問題集選びから支援。個別支援計画を立てる。また、グーグルクラスルーム等を利用して、学生が直接、学生支援担当に相談できる窓口を設ける。

③ 特記事項

特になし

(6-1) . 教育環境（こども未来学科）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 課題

- a. 教員採用試験関係の対策本や学習教材が上級生のクラスにあるため、下級生は利用しにくい状況にある。
- b. 居残り学習をする学生は増えているが、学習以外で残っている学生もいるため集中しづらい環境となっている。

② 今後の改善方策

- a. 全学年が使用できる場所、もしくは各教室に資料を配置できるよう環境を整える。
- b. 自習できる教室を作り、学年問わず学習に集中できる環境を整える。

③ 特記事項

特になし

(6-2) . 教育環境 (こども発達学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	(4) 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	(4) 3 2 1

① 課題

防災についての意識づけと知識が充分ではない。

② 今後の改善方策

次年度は防災教育をさらに強化する。防災について自分事と捉え、災害に備えることができるよう自助、共助について学びを深める機会を設ける。

③ 特記事項

特になし

(6-3) . 教育環境 (こども学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 (3) 2 1
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	(4) 3 2 1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4 (3) 2 1

① 課題

- a. 初回のこどもっと実習で子どもと関わる時間が短かったため、午睡以降の園生活の様子を知ることができなかった。
- b. 学校斡旋のパソコンのスペックを高め、トラブルが少なくなり、学生負担が軽減したが、移動には重たく持ち運ぶのが大変である。

② 今後の改善方策

- a. 実習担当者と担任、他教科教員と協議し、こどもっと実習の趣旨を確認し、学生の学びが深まるよう次年度の計画を作成する。
- b. 学校斡旋のパソコン選定の際は、学生の意見を聞き取り、現状の問題を精査し、専門の教科担当も含め検討する。

③ 特記事項

特になし

(6-4) . 教育環境 (医療事務総合学科)

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	③	2
・ 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	③	2	1
・ 防災に対する体制は整備されているか	4	③	2	1

① 課題

2年生後期には多くの学生が内定先での早期就労に赴くが、その評価付けにあたる調査票の返信率が低く、現場での評価がつかみにくい。

② 今後の改善方策

医療機関での早期就労についても学校活動の一環であることを理解してもらい、評価付けへの協力してもらえよう意識付けしていく。

③ 特記事項

特になし

(7) . 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 学生募集活動は、適正に行われているか	4	③	2
・ 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	③	2	1
・ 学納金は妥当なものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

入学検討者にとって学校の違いや特徴が分かりにくく、差別化を図りにくいと感じ模索してきたが改善には至っていない。

② 今後の改善方策

学生や卒業生がキーになると思われるので口コミ・声を集めながら効果的な方法を検討していきたい。

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(8) . 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	③	2
・ 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・ 財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・ 財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

〔 在校生数の減少による収入の減少 〕

② 今後の改善方策

〔 学生募集の強化等 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(9) . 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
	・ 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	③	2
・ 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4	③	2	1
・ 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4	③	2	1
・ 自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

〔 個人情報の取扱いに関する規程を策定しているが、実際に事故が起きた際にどのような初動をとるか細部まで検討が必要と考える。近年はコンプライアンスについて厳しくなっており、より一層のガバナンス強化に努める必要がある。 〕

② 今後の改善方策

〔 上記規程を周知し教職員の意識向上を図る。また、個人情報漏洩に係る業務過誤賠償責任保険への加入も継続する。また、ガバナンス強化のため、第三者の目線を取り入れた監視・評価体制の構築も検討する。 〕

③ 特記事項

〔 特になし 〕

(10) . 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4 3 2 1
・ 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4 3 2 1
・ 地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4 3 2 1

① 課題

ボランティア活動の周知は行っているが、コロナ禍の影響から、案内自体も減少し、学生もボランティア活動と疎遠になり、参加の意欲・意識も薄くなっていると感じられる。実習を中心として地域の教育資源との接点は比較的多くあるが、公開講座などの依頼・受諾に繋がる事例は少ない。

② 今後の改善方策

ボランティア活動に対する意識啓発を行いたい。ボランティア活動の意義に触れる講義や、日頃からボランティア活動に寄与しているような教員の存在があると心強いのではないかと。公開講座などは教員のスキルアップにもつながるものなので、学校側から積極的に売り込むことも考えられる。

③ 特記事項

学校あげての計3日間の「こども祭り」の開催（9園1校、地域の子育て家庭が来場）、未来学科による万代長嶺小学校「ふれあいスクール事業」への参加、発達学科による人形劇公演（7園1校で公演）など、学びの成果を活かした学生の地域貢献は積極的に行われたように思う。

(11) . 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・ 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4 3 2 1
・ 留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4 3 2 1
・ 留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4 3 2 1
・ 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4 3 2 1

① 課題

② 今後の改善方策

③ 特記事項